

12/13
(金)

フィールドワーク
【水島の今】13:00~17:00
(オプション 水島コンビナートナイトクルーズ17:30~18:30)

鷲羽山スカイライン水島展望台(鴨が辻)→JFEスチール(株)西日本製鉄所工場見学と産業医の
レクチャー→倉敷市環境学習センター・監視センター
※オプション 水島コンビナートナイトクルーズ/(所要時間約1時間)(案内:みずしま滞在型環境学習コンソーシアム)

環境再生と健康づくりの側面に着目し、倉敷市水島の今を巡ります。今回のフィールドワークでは、倉敷公害裁判と和解の歴史、工場見学と働く人の健康管理・作業安全の改善についての現状、行政の環境監視のしくみを学びます。
新産業都市の優等生と言われる水島は1960年代「農業県から工業県に」のスローガンのもと開発され、工場操業に伴う大気汚染により患者さんが発生した地域です。1996年の倉敷公害訴訟和解後、企業・行政・住民が協働してまちづくりを行う拠点が生まれています。

日付	分科会・タイトル	担当委員	ゲスト	紹介文
12/14 (土)	14-1 【公害入門】 公害に携わった医師の話 を聞く	大槻剛巳(川崎医科大学)	里見和彦(総合病院水島協同病院)	患者さんに寄り添い倉敷公害訴訟に関わった里見和彦医師に、どのような思いと行動だったのかを伺います。川崎医科大学医学部の見学実習先の一つに水島を選択し、10年以上継続してこられた大槻剛巳教授とともに、公害からの学びを考えます。
	14-2 【地域づくり】 多様な主体との協働による公害 地域再生をどう進めるか?	岩淵泰(岡山大学地域総合 研究センター) 川中大輔(龍谷大学) 原田利恵(国立水俣病総合 研究センター)	塩飽敏史(みずしま財 団) 山崎陽((-)社)あがの がわ環境学舎)	公害地域再生は当事者の願いを基軸として進めるべきものですが、それだけではなく考え方が異なる様々な関係者と結びつかなければ、広がりを欠いてしまう場合もあります。そこで今回の分科会では、多様な主体との連携や協働を進めている二地域のこれまでの成果と課題から協働取組推進の要諦を見出していくこととします。
	14-3 【教育1】 土呂久公害の経験を伝える	安藤聡彦(埼玉大学) 高田研(都留文科大学)	川原一之(土呂久の記 録者) 岩佐礼子(あまべ文化 研究所)	宮崎県の土呂久では亜硫酸製造による公害で健康被害が生じ、公害地域指定を受けています。この地域で、公害の解決や経験を伝えるために奔走してきた川原一之さんからお話を伺います。土呂久のお話から、あらためて公害資料館のはたす教育的意義やそれを支える条件について考えます。

12/15 (日)	15-1 【資料】 岡山・倉敷における公害資料の 現状と課題	平野泉(立教大学共生社会 研究センター) 小田康徳(西淀川・公害と 環境資料館) 蜂谷紀之(国立水俣病総合 研究センター)	森久美(みずしま財団) 杉山一雄(岡山県立記 録資料館)	岡山・倉敷の公害問題に関する資料を所蔵する二つの機関より、資料の整理・保存・活用をめぐる現状と課題についてお話しいただきます。その上で参加者それぞれの立場や認識等にひきつけつつ、資料をめぐる課題解決のための方策について議論します。
	15-2 【企業】 倉敷市水島における2つの “和解”を考える～公害裁判か ら協働にむけて～	五十嵐実(日本自然環境専門 学校) 藤原園子(みずしま財団) 清水万由子(龍谷大学) 岩淵泰(岡山大学地域総合研 究センター)	岩永隆久(元JXTGエ ネルギー(株)) 太田映知(倉敷市公害 患者と家族の会)	1996年、倉敷公害訴訟は和解が成立しました。残されたまちの課題に対し模索する中、立場の異なる関係者の協働により、“もう一つの和解”が進みつつあります。企業の立場として公害裁判を経験し、今は環境学習のまちづくりのメンバーとして活動する岩永隆久さんと、患者会会長太田映知さんをお招きし“2つの和解”の意味を考えます。
	15-3 【教育2】 岡山のNPOによるESDとして の環境学習の授業実践	高田研(都留文科大学)	竹島潤(岡山大学附属 中学校教諭/NPO 法人国際協力研究所・ 岡山(ICOI)) 阿部友彦(岡山市立高 松中学校教諭/NPO 法人国際協力研究所・ 岡山(ICOI))	国際協力研究所・岡山(ICOI)は岡山で活動するNPOです。人権、環境、国際などの問題を題材として、学校現場でESDを実践しています。その一つとして、水島の公害を中学校の授業で取り上げました。団体の紹介と事例を通してESDについて考えます。

学生ボランティア
募集中!
お問い合わせ
ください

【連絡先】

公害資料館ネットワーク事務局/実行委員会事務局

公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
kougaishiryokan+forum@gmail.com

現地実行委員会事務局

公益財団法人水島地域環境再生財団(みずしま財団)
〒712-8034 岡山県倉敷市水島西栄町13-23
TEL:086-440-0121 FAX:086-446-4620
webmaster@mizushima-f.or.jp



学生ボランティア
QRコード



申し込み
QRコード

FAXでのお申込みの場合は **086-446-4620** へ送りください

氏名	(ふりがな)	TEL	FAX
所属		メールアドレス	
住所	〒	13日フィールドワーク 参加申込 4,000円(先着受付)	申込する 申込しない
フォーラム参加ご希望 の分科会名と番号 (人数調整あり)	14日 第1希望	13日オプションナイトクルーズ 参加申込 2,000円(先着受付)	申込する 申込しない
	第2希望		
	15日 第1希望	14日交流会 4,000円	申込する 申込しない
	第2希望		